



花粉症に対する初期療法

簡単に言います。
花粉が飛散する2週間前から
抗アレルギー点眼を開始します。

メリット

症状の発症を遅らせられる。
症状のピークを軽減する。

具体的には・・・
気象庁の予想花粉飛散時期
を確認。第二報が12月5日
に出されておりますが、例
年通りだそうです。つまり
東京ですと**2月上旬**です。

飛散量は今年**例年より
も少なめ**だそうです。飛散
量は前年夏の気象条件に影
響を受けるようで、気温が
高く、日照時間が多く雨の
少ない時が多くなるよう
です。

例年花粉症で症状の重い方
は、**1月中旬頃から点眼を
使用**すると症状の軽減をは
かることができます。早め
の対応をしていきましょう。

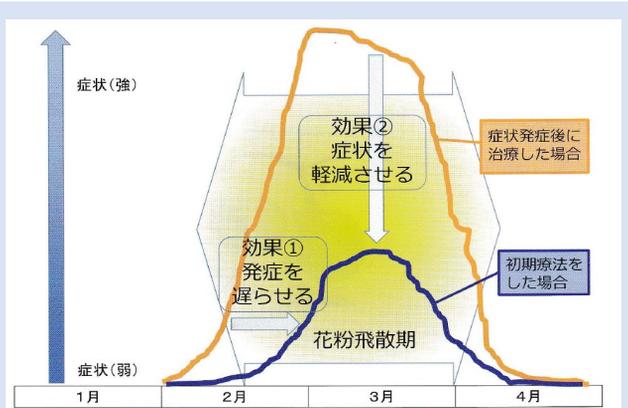


図4 初期療法
本格飛散の2週間前から点眼することにより、①症状の発症を遅らせ、
②症状のピークも軽減することができる治療法である。

【引用元】 深川和己「スギ花粉アレルギー性
結膜炎に対するセルフケアと初期療法」日本の
眼科88:3号291-295 (2017)

花粉症の点眼

花粉症の点眼薬を耳鼻科や
内科の先生から処方しても
らうことがあると思います。
抗アレルギー点眼薬にはいく
つか種類がありますが、そ
れでも痒みが治らないとき
があります。その時はステ
ロイド点眼を利用しますが、
ステロイドには**感染症や緑
内障などの副作用**があり、
使用にあたっては、眼科で
の検査が必要になります。
副作用の有無を確認しなが
ら花粉の時期を乗り切りま
しょう。